

子どもも大人も共に学び育つまち

京都市の学校評価

京都市教育委員会
京都市立藤城小学校

学校評価にかかわる流れ

◆徹底した開かれた学校づくり

- 学校支援ボランティア（のべ約3万人）
- 学校評議員制度の全校での導入（13年度）
- 学校評価システムの全校実施（15年度）
- 小中一貫教育で「学び」と「育ち」, 「地域」をつなぐ（16年度～）
- 学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）の設置拡大（16年度～）



学校評価と学校運営協議会

◆学校関係者評価委員会【辛口の友人】

- 学校運営協議会が組織して学校関係者評価を行う。
- 自己評価結果に対する評価とともに、課題の改善策、地域・保護者の支援策を検討する。

【学校関係者評価の手順例】

- ①学校評価実施報告書の自己評価を理事会に提示
- ②理事会は学校の自己評価に対し意見（評価結果）
- ③学校運営協議会としての支援策を検討



学校評価と学校運営協議会

◆学校関係者評価委員会 辛口の友人として

分野	評価項目	評価指標	分析（成果と課題）	改善策
1 確かな学力	基礎・基本の徹底	学校評価アンケート 各種学力調査結果の分析	ここ数年の学力調査の結果からは、少しずつではあるが、着実に子どもたちの学力が向上していることが伺える。その一方で、アンケート結果からは、今までに引き続き「家庭学習習慣」の定着の低さが本校の最も大きな課題の1つとして浮かび上がってくる。教職員の「学力向上」に対する意識は高揚しており、「読書活動」「授業改善」「家庭学習課題の工夫」等の具体的な改善策にも取り組んできたが、学校が一丸となってこの課題に取り組もうとする姿勢がより一層求められる。今年度、キャリア教育の観点から「卒業後の進路追跡調査分析」に着手し、分析結果を地域・保護者に情報公開できたことは評価できる。	「家庭学習習慣の未定着」については、家庭を巻き込みながら主体的に学習できる効果的な課題の開発を、学校全体で研究しながら模索していきたい。同時に、生徒や保護者には家庭学習の具体的な取組の方法を説明していき、「授業改善」においては、生徒集団全体の育成を目標にした「活用型学習・探究型学習」を展開していきたい。そのような学習活動を展開するために、年間を通して計画的に、教師の力量を高めるための取組を積極的に推進したい。「学力向上」が「荒れない学校づくり・自律的な生徒育成」につながることを共通理解しながら、より一層研修を深め、実践を積み上げていきたい。
	授業改善	学校評価アンケート 授業研修・研究協議		
	家庭学習の充実	学校評価アンケート 課題設定・授業とのリンク		
	読書の習慣化	学校評価アンケート 読書活動		
2 豊かな心	規範意識の向上	学校評価アンケート 学校のきまり	ここ数年のアンケートの結果の比較からは、生徒の規範意識や自己有用感の高まりが確認できる。実際の学校生活の中でも、大半の生徒が学校のきまりを守り、落ち着いた学校生活が展開されている。一方で、「●●●中学校の生徒であることに誇りが持てる」は3学年とも実現度が低い。ピア・サポート活動も、保健士の連携の基、円滑に実施されているが、「3年生は学校のリーダーとして責任を担う」という意識が、3年生から、来年度のスタンダード「自ら考えて判断し行動できる生徒」に向けて、学校の教職員が子どもたちに「発達段階に応じた適切な指示」が出せるように、研修を深め実践していきたい。	生徒指導上の問題行動に対して、小さなことも見逃さずチームで丁寧に対応していく一方で、問題行動の予防教育活動により一層力を入れて取り組んでいきたい。ピアサポート活動では、活動の中で3年生を学校のリーダーとして育成する視点を大切にして取組を進めたい。また、社会や人が「困っていること」に対してどうサポートできるかを生徒たちが主体的に考えて実践できる場をつくりたい。今年度のスタンダード「あいさつ」に対する取組を継続していき、来年度のスタンダード「自ら考えて判断し行動できる生徒」に向けて、学校の教職員が子どもたちに「発達段階に応じた適切な指示」が出せるように、研修を深め実践していきたい。
	人権教育	学校評価アンケート 人権学習作文		
	豊かな心の育成	学校評価アンケート 道徳授業		
3 健やかな体	自己有用感の向上	学校評価アンケート ピアサポートの実践	「開かれた学校づくり」に向けて多様な取組が開始し、大きな一歩を踏み出すことができた。「●●●学校運営協議会」「学校評価活動」「小中一貫教育の推進」「●●●スタンダード」「卒業後の進路分析調査」等である。これらの取組を丁寧には継続していく一方で、「●●●スタンダード」を今後の学校教育や家庭教育の中で最大限効果的に活用し子どもたちの成長につなげていくことなど、今年度の取組をさらに発展・継続させるための具体的な方策が望まれる。	現在、連携のための数多くの会議や組織がつけられているが、それらをさらに整理・統合し、より有効に機能する組織作りに努める。3校の校務分掌については、ある程度統一して協働しやすい組織をつくりたい。「学校支援活動」においては、来年度は特に「図書支援活動」「環境支援活動」の始動に向けた組織づくりを進めたい。「●●●スタンダード」は、広報活動を工夫し、●●●学区全体でその存在と価値を共有したい。保護者の学校行事への参加を促すために、学校からの情報発信を充実させるだけでなく、懸念のある参観内容をさらに工夫したい。
	基本的な生活習慣の確立	学校評価アンケート 保健衛生活動		
	体力の向上	学校評価アンケート 体育系部活動の参加		
4 (学校独自の取組)	食育の推進	学校評価アンケート 学校保健委員会		
	小中一貫教育の推進	学校評価アンケート 小中が連携する各取組		
	参観・参加・活動	学校評価アンケート 参観・参加数、活動状況		
学校・家庭・地域の連携	情報発信の充実	学校評価アンケート 学校だより・HPの更新状況		
	家庭(PTA)連携の充実	学校評価アンケート PTA活動		

自己評価結果

学校運営協議会による評価 = 学校関係者評価

学校運営協議会による評価 = 学校関係者評価

評価結果

●●●校区の課題を明らかにされ、小学校や中学校だけでなく、●●●校区の教育機関と連携され、課題解決に向け、着実に一步ずつ取組が展開されている。特に、あいさつする生徒も増えつつあることが実感される。最大の課題である家庭教育力の向上に向け、あらゆる情報をオープンにされ、開かれた学校づくりが進展していることを実感できる。特に子どもの学力についての状況も理解でき、その課題に向け小中3校の教職員が協働で取り組まれていることは、荒れない学校づくりに大きな成果を期待できる。

「あ」が
「い」が
「さ」が
「つ」が
「あ」が
「い」が
「さ」が
「つ」が

改善に向けた支援策

今年度、学校運営協議会が始動し始め、校区の教育の実態がよく理解でき、学校がめざす各取組に対し、支援できる体制づくりを考えてきた。地域・保護者に声かけをするだけでなく、次年度学校支援ボランティア組織がつかれるよう努力していきたい。

校・家庭・地域の連携	参観・参加・活動	学校評価アンケート 学校だより・HPの更新状況 学校評価アンケート PTA活動	「卒業後の進路分析調査」等に 「卒業後の進路分析調査」等である。これらの取組を丁寧 に継続していく一方で、「●●●スタンダード」を今後の学校 教育や家庭教育の中で最大限効果的に活用し子どもたちの成長 につなげていくことなど、今年度の取組をさらに発展・ 継続させるための具体的な方策が望まれる。	「卒業後の進路分析調査」等に 「卒業後の進路分析調査」等である。これらの取組を丁寧 に継続していく一方で、「●●●スタンダード」を今後の学校 教育や家庭教育の中で最大限効果的に活用し子どもたちの成長 につなげていくことなど、今年度の取組をさらに発展・ 継続させるための具体的な方策が望まれる。	「卒業後の進路分析調査」等に 「卒業後の進路分析調査」等である。これらの取組を丁寧 に継続していく一方で、「●●●スタンダード」を今後の学校 教育や家庭教育の中で最大限効果的に活用し子どもたちの成長 につなげていくことなど、今年度の取組をさらに発展・ 継続させるための具体的な方策が望まれる。
	情報発信の充実				
	家庭（PTA）連携の充実				

学校関係者評価（学校運営協議会）

●●●校区の課題を明らかにされ、小学校や中学校だけでなく、●●●校区の教育機関と連携され、課題解決に向け、着実に一步ずつ取組が展開されている。特に、あいさつする生徒も増えつつあることが実感される。最大の課題である家庭教育力の向上に向け、あらゆる情報をオープンにされ、開かれた学校づくりが進展していることを実感できる。特に子どもの学力についての状況も理解でき、その課題に向け小中3校の教職員が協働で取り組まれていることは、荒れない学校づくりに大きな成果を期待できる。

今年度、学校運営協議会が始動し始め、校区の教育の実態がよく理解でき、学校がめざす各取組に対し、支援できる体制づくりを考えてきた。地域・保護者に声かけをするだけでなく、次年度学校支援ボランティア組織がつかれるよう努力していきたい。

自己評価結果に対する評価

地域・保護者の支援策

一人ひとりが輝き、夢がひろがる、
地域に根ざす学校づくり
～学校評価を生かした双方向の取組～



京都市立藤城小学校

地域の熱意の中で生まれる

藤城小学校



- ・ 創立28年目
- ・ 伏見桃山城の北
- ・ 銘木「やまざくら」

教育情報化

学校改革

授業が変わる
子どもが変わる
学校が変わる

教育課程の改革

- * 個に応じた指導
- * 確かな学力
- ゆたかな心
(基礎基本の定着)

* 補充・発展的な学習

学校教育目標

思いやりの心をもって、いきいきと活動する子

情報教育の推進

- * 情報活用の基本
「見る」「読む」「書く」
「聞く」「話す」の徹底
- * 情報活用能力
(収集・整理・選択・発信等)
の基礎基本の定着

* 校務の情報化

開かれた学校

学校・地域の連携
地域の学校

学校運営協議会と連携・協働
(やまざくらNET 21)

地域に学ぶ
地域と学ぶ
地域で学ぶ
地域と創る
地域の学び舎

学校評価システムの構築

